



- (3) 研究教育等実績一覧 【様式3の1～3の5】
- ①教育実績
  - ②社会及び学会における活動実績
  - ③研究補助金等の実績
  - ④診療経歴
  - ⑤最近3年間に術者(治療手技者)及び指導助手として関与した手術症例
- (4) 応募者周辺の方へのアンケート調査に係る同意書 【様式4】
- (5) 教育、研究、診療等に対する抱負 【様式5の1～5の4】
- ①教育に対する抱負
  - ②研究に対する抱負
  - ③診療に対する抱負
  - ④講座運営・地域医療に対する抱負
- (6) 主要業績の別刷(10編以内) 各2部  
別刷は、事後に返却いたします。
- (7) 関係者の推薦書  
厳封の上、別便で推薦者から直接送付してください。
- ※ 応募書類(様式等)については、大学院医学研究科ホームページ「教員公募情報」(<http://www.med.hirosaki-u.ac.jp/web/teacher.html>)からダウンロードできます。

10. 応募期限 令和6年11月6日(水)17時【日本標準時】

11. 選考方法
- (1) 書類審査
  - (2) 選考の過程において、応募者周辺の方に対して、応募者の教育、研究、診療、管理運営の参加の状況等についてのアンケート調査を実施します。また、選考委員との面接、模擬講義、教育・研究に関する抱負等の発表のため弘前大学にお越しいただく場合があります。

12. 書類提出先 〒036-8562 青森県弘前市在府町5  
弘前大学大学院医学研究科内教授候補者選考委員会 宛  
※封筒に「教員応募書類(耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座)在中」と朱書きし、簡易書留、レターパック、EMS、その他法令で認められる送付方法により、送付記録の残る方法で送付してください。

13. 問い合わせ先 〒036-8562 青森県弘前市在府町5  
弘前大学医学研究科総務グループ(総務担当) 鈴木・齋藤  
TEL: 0172-39-5194 E-mail: jm5194@hirosaki-u.ac.jp

14. その他
- (1) 弘前大学は男女共同参画を推進しています。業績及び資格等に関わる評価が同等と認められる場合には女性を優先的に採用します。面接時の交通費支援を含む支援策については、男女共同参画推進室ホームページをご覧ください。  
(ホームページのURL <https://www.equ.hirosaki-u.ac.jp/>)
  - (2) 弘前大学では、女性の方、外国人の方の積極的な応募を歓迎いたします。
  - (3) 必要に応じて他の学部・研究科等の教育や業務、あるいは教養教育等を担当していただく場合があります。
  - (4) 応募書類により取得する個人情報、本公募による教授候補者の選考及び採用時の人事、給与、福祉関係等必要な手続きにのみ利用するものであり、この目的以外で利用又は提供することはありません。
  - (5) 手術見学を依頼することがあります。

令和 6 年 6 月 1 1 日

## 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座教育・研究組織に関する提言

### 1. 講座のあり方と方向性

耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座は、耳鼻咽喉科・頭頸部外科学に関する教育と高度な専門的医療を行い、地域医療に貢献する専門医を養成し、当該分野の発展に寄与することを目的とする。そのためには、先端的かつ国際的な研究を推進することが求められ、特に人材の確保に努める必要がある。

### 2. 診療

先進的医療を含めて広く耳鼻咽喉科診療を実践するとともに、本学附属病院の他診療科及び診療部門等との連携の下に高度に専門的な頭頸部外科診療を実践することが求められる。

### 3. 教育

卒前・卒後教育の全ての面で積極的に携わることが求められる。

### 4. 研究

上記の診療・教育に関連した臨床的、基礎的研究を推進していくことが求められる。

### 5. 社会活動

地域医療に対して積極的に貢献することが求められる。

### 6. その他

耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座の構成員として、第一に求められるものは、卓越した臨床能力と、それを追求する真摯な姿勢である。特に、教授には、先進医療施設としての役割を担う附属病院の中核となり、診療機能の充実を果たすとともに、講座・診療科を統率する能力を有する人物が求められる。

耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座教育・研究組織提言委員会

石橋恭之（委員長）、袴田健一（副委員長）、今泉忠淳、  
水上浩哉、上野真治、斉藤敦志、小林 恒、漆館聡志